
錯乱うさぎ

のーこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

錯乱うさぎ

【ノート】

N0598I

【作者名】

のーじ

【あらすじ】

君といることを、世界は許さなかった。

のうみそがとろけて何も
考えられないことがあるそれは
悲しいことがあった
時たとえば

12年間一緒に暮らしてきた
ペットの塩水
が死んだ時とか

のうみそがとろけるっていう
のは そう、比喩的な意味でそれでも
本当にとろけてしまっ
ているのではと思うこともある

今まで生きてきた
人生で一番そう
思ったのは君が
眠ってしまったとき

いつもいい匂いがしていた
君からはもう
「死」の匂い
しか
しなくなっ

ずっと夢を見て
いるようだったの

うつんきつとそれが夢
だと思いたかった
だけで信じたくなかっただけで

君がいなくなるのは怖かっただから
僕は君とずっと一緒に
いたんだよ

でも数時間経つと髪の毛
とかまつげは抜け落ちた

細胞が全部死んでいく
のが分かった

腐敗してドロドロ
っていう表現が
丁度いいかなって思った

ずっと一緒にいたかった
のに世界はそれを
許さなかったの

けんじゆうを持ってたくさんの
人が入ってきた
みんな同じに見えたよ

そいつらが僕と
君を引き離そうと
してきた僕はそれが
嫌で暴れた

噛み付いた

殴った

フォークで目玉

を突き刺した

するとね、撃たれてしまったの

目玉を刺した奴に

目が見えないからの

外して僕の

心臓に入っっていった

痛さとか

は感じなかった

それよりも僕が

君と一緒にいること

を神様か誰かが

許してくれたの

だと思っただよ

目の前で君

は運ばれて

行くのに

隣にはいつもの君
が笑ってて僕を
抱き締めたの

…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0598i/>

錯乱うさぎ

2010年12月2日15時53分発行